

下水道機構の『新技術情報』 第129号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

慣れない雪かきで筋肉痛の方もいらっしゃるかと思います。2週連続記録的な大雪をもたらした「南岸低気圧」。今週も本州の南岸を通過しそうとのこと。雪対策をしっかりと、どうぞお気をつけください。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第129号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・2月の技術サロンは川崎市上下水道局松川下水道計画課長をお迎えして開催しました
- ・2/12(水)に平成25年度第3回新技術設計手法等共同研究委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、2/17(月)に管路技術共同研究委員会、健全な水・物質循環形成に向けた連携会議を、2/21(金)に汚泥処理技術共同研究委員会を開催します

■Tea Break

- ・スキー合宿(ペンネーム 南国のスキーヤーさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、国総研の森田さんより「唐辛子小話」をお届けします

■国からの情報

- ・2/14付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●2月の技術サロンは川崎市上下水道局松川下水道計画課長をお迎えして開催しました

今回のテーマは、「川崎市における今後の下水道事業の方向性について」で、平成26年度から平成28年度までの3ケ年に取り組むべき主な施策やその裏付けとなる財政収支計画についてまとめられる川崎市下水道事業中期計画(案)の概要についてのお話でした。パブリックコメント用に、サロン当日の14時に公表されたホットなもので、まだ、案の段階ですが、パブリックコメントを経て修正等が行われたのち最終版とな

るようです。

さて、次回のサロンは、3月13日(木)17:00から18:00。ゲストには国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部 下水道研究官 森田弘昭 氏をお迎えして「ベトナムにおける推進工法の普及について」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みは機構ホームページから→

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●2/12(水)に平成25年度第3回新技術設計手法等共同研究委員会を開催しました

今回は、『大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのあり方と構築方法に関する共同研究』についての審議が行われました。本研究は、(株)東芝、(株)日立製作所、(株)明電舎、メタウォーター(株)、三菱電機(株)と当機構の6者で実施している共同研究で、今後大規模災害が起きた際に、情報を活用することで下水道の早期機能回復を図る手法について検討を行います。

今回終了案件として、当日は技術資料(案)を提示し、早期機能回復支援システムの通常時と災害時の活用方法などに関して活発な議論を行いました。今後は、技術委員会等の審議、技術資料として発刊する予定です。

---

。○○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○○。

●平成26年2月17日(月)14:00~17:00

行 事：平成25年度第3回 管路技術共同研究委員会

場 所：機構8階 特別会議室

内 容：修繕工法による管きよ長寿命化に関する共同研究等の審議

●平成26年2月17日(月)14:00~17:00

行 事：平成25年度第2回 健全な水・物質循環形成に向けた連携会議

<ビストロ下水道 Ash チーム>

場 所：機構8階 中会議室

内 容：健全な水・物質循環形成に向けての議論

●平成26年2月21日(金)14:00~17:00

行 事：平成25年度第3回 汚泥処理技術共同研究委員会

場 所：機構8階 特別会議室

内 容：下水処理場における小型バイナリー発電による排熱利用に関する共同研究等の審議

○平成26年2月28日(金)13:00~15:00

行 事：平成25年度第2回 リアルタイム雨水情報ネットワークに関する共同研究委員会





当学会では2005年より「若手技術者のネットワークの形成」、「将来を担う人材の育成」を目的として、プログラムを通して異業種や異文化の情報収集や参加者間のネットワークが形成され、下水道界を支えていく人材を輩出していくことを目標として活動してきました。これまでの参加者は延べ140名を越え、当初の目論見通り若手技術者あるいは先輩技術者らとの有用なネットワークが形成されてきました。

2014年度の新・未来プロジェクトでは、計5回のセミナーを通じて、東京オリンピック後の豊かな社会を視野に入れつつ、2020年の社会と環境ビジネスはどうあるべきか創造し、参加者がビジネスプランを立案するプログラムです。参加者が立案したビジネスプランは、平成26年10月に開催される、第26回環境システム計測制御学会研究発表会にて発表していただきます。

詳細情報はEICAホームページ（下記）を参照してください。申し込み希望の方も、同ホームページから、新・未来プロジェクトのバナーより案内画面にアクセスいただき、エントリーシートに記入のうえ事務局までお申し込み下さい。募集締め切りは3月10日です。皆様のお申し込みを、心よりお待ち申し上げます。

・申し込み先／問い合わせ先

環境システム計測制御学会（EICA）

TEL 090-9219-4106 FAX 077-537-4997

E-mail [info@eica.jp](mailto:info@eica.jp)

URL <http://eica.jp/>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）の公募について

【下水道企画課・流域管理官】

（2月19日まで）

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13\\_hh\\_000230.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000230.html)

→2月7日掲載

■「防災・減災に向けた研究成果報告会～東日本大震災から3年～」の開催について

【国土技術政策総合研究所・土木研究所】

（3月19日開催）

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/kisya20140207.pdf>

→2月7日掲載

■第21回下水道循環のみちセミナー「循環のみち、JSの最近の取組み」の開催について【日本下水道施設業協会】

（3月3日開催）

<http://www.siset.or.jp/>

→2月7日掲載

=====

【参考情報】

◆過去40年の浸水マップ 県がHPで公表へ<2/8 毎日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/fukui/20140208/CK2014020802000020.html>

◆下水汚泥焼却灰、南本牧で試験埋め立て受け入れへ／横浜<2/8 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1402070033/>

◆来年度着工へ／三木の下水道汚水処理施設<2/9 四国新聞>

[http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa\\_news/administration/20140208000140](http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/administration/20140208000140)

---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから

→<http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140116/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>

---